

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレス鎌倉材木座新築工事	階数	地上4階
建設地	鎌倉市材木座三丁目50-1の一部	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	76人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2016年5月15日
敷地面積	984㎡	作成者	(株)四季建築設計事務所
建築面積	678㎡	確認日	
延床面積	1,913㎡	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.4
Q2 サービス性能: 3.5
Q3 室外環境(敷地内): 3.1
LR1 エネルギー: 3.4
LR2 資源・マテリアル: 2.9
LR3 敷地外環境: 3.4

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合 周辺環境との調和に配慮し、シンプルかつ上質な外観・緑豊かな環境の創出を目指す。		0
Q1 室内環境 開口部にペアガラス、部材にはF☆☆☆☆、VOC放出の極めて少ない建材を採用し、環境に配慮している。	Q2 サービス性能 居室天井高2.55m以上、階高3.06m以上を確保し、ゆとりある空間を創出する。また共用部・専有部共に維持管理等級2、劣化対策等級3を取得予定。	Q3 室外環境(敷地内) 生垣など効果的な植栽を施し、緑豊かな景観を形成している。
LR1 エネルギー 潜熱回収型給湯器を採用し、エネルギーの有効利用を図る。LED照明器具を採用する。	LR2 資源・マテリアル 内装材の更新性に配慮し、二重天井、二重壁を採用した。また、PS配管、床コログシ配管の採用することにより、内装材と設備との錯綜がなく、部材の再利用可能性向上に配慮した。	LR3 敷地外環境 適切な駐車台数を確保し、周辺の交通負荷低減に配慮した。また周辺環境に対して配慮した建物ボリュームとした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される